

ニコラスマ

No. 80

38. 10. 15 発行
発行人 佐呂間町長 船木長一郎
編集人 紙務課 印刷人
庶務課 印刷人
佐呂間町長 船木長一郎

世帯数	2,886
人口	13,929
男	7,023
女	6,906

9月末日住民登録人口



(出陳馬の審査)

一等北進号 遠藤留八郎（若里）
二等宝春号 佐伯八助（柄木）
万両号 平戸敏（中園）

第七回 綜合家畜品評會

乳牛三〇〇頭、馬一六〇〇頭
豚一二〇〇頭を有する本町有畜農業は、年を経てます／＼發展して

おりますが、これら畜産振興の一環として第七回綜合家畜品評会が十月一日佐呂間市場で盛大に行な

出陳家畜数は牛四六頭、馬三二頭、豚二一頭で、このなかから厳正な審査の結果一位入賞は次のとおり、なお団体については若里第七部落が昭和三十六年第五回総合畜産品評会以来三ヶ年連続一位を

れました。

(当才牡
一等初勇)

井上五月（富武士）

(第三部一等口メオ第四一サロ
マハルサメ五号木間藤三郎)

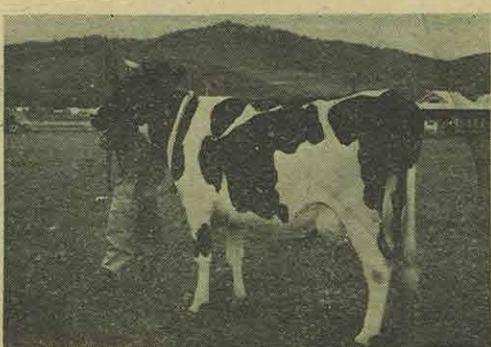
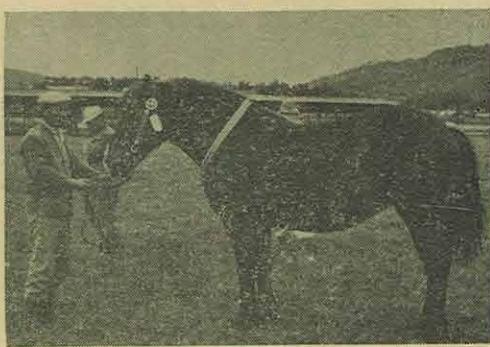
(第三部一等口メオ第四一サコ
マハルサメ五号木間藤三郎)

一等第一 営幸号	坂上正雄	(若里)
二等オリ姫号	浅田一雄	(大成)
(三才以上)		
一等優駿号	徳田栄治	(若里)
二等山錦号	岡田石藏	(仁倉)
桜姫号	土田 猛	(若里)
シマノン号	尾崎吉郎	(七郎)

肉豚 ||△一等ヨウヂク一八号川
西養豚組合（川西）△二等垂水道
明（西富）豊田正夫（知来）
◎団体
一位 若里第七農事組合
二位 川西川向農事組合

三位	北第三農事組合
四位	西富第四農事組合
五位	若里第五農事組合
◎鑑識賞	○一位佐伯孝(炳木)
牛の部	II △

牛の部 || △二位佐伯孝（柄木）
 △二位芝晴次郎（大成）△三位相原榮喜（富武士）
 馬の部 || △一位佐伯八助（柄木）
 ○△二位内藤竹次郎（朝日）△三位伊丹博（北）
 豚の部 || △一位佐瀬福義（柄木）
 ○△二位伊藤豊（永代町）△三位瀬戸昇（川西）
 ※紙面の都合で牛、馬、豚の個人
 入賞三等以下は省略しました。



「浜佐呂間駅」に

十月から駅名が変ります

国鉄湧網線下佐呂
間駅が十月一日から
「浜佐呂間駅」に変
りました。

これは昭和三十年四
月に字名が現在の浜
佐呂間に改正されて
からも駅名は下佐呂
間駅になつていて、
いろいろと不便があ
りましたので本年十
月一日から字名と同
じ浜佐呂間駅に改正
されたものです。

(写真は駅名改正された
浜佐呂間駅)



このようにするのにビートバルブ
又は乾草を10%位が、乾燥デン
トーンを15~20%位加える
のも一つの方法です。

四、添加物を入れましょう。

質の良いサイレージを作るため
に糖類を5%位か精密の場合には二
名位を加えると良いでしょう。

そしてこの添加物は平均に混る
ようにして下さい。

五、踏込は充分に!

失敗をするのは踏込の足りない
ときです。充分に踏込んで四~五
日後もう一度踏込をします。

踏込んだあとビニール等で覆を
して土ならば四〇~五〇センチメ
ートル位の厚さにかけて二重して
下さい。

六、サイレージの与え方。

サイレージは一ヶ月ほどで出来
上りますが、ビートトップはしゆ
う酸と言ふ畜に良くない成分も
含まれていますので成牛では一頭
当り二五kg~三〇kg以上は与えな
いようにして下さい。豚では三kg
以下です。

七、カルシニュームを与える。

このしゆう酸の害をなくするた
めには、カルシニュームを与えるこ
とが有利です。

良いビート・トップサイレージ
を作るために次のことに注意して
下さい。

一、葉に土をつけないように
土で汚れたトップを切込むと、
不良バクテリアの繁殖で腐敗をす
ることがあります。

二、サイロに水抜をつけよう。
トップは水分が多いので水が溜
ります。

ビートトップの 作り方はこのように

ビートの茎葉は根の重量と同じ
位生産されます。

この茎葉は冬期間の飼料とする
のが有利です。

良いビート・トップサイレージ
を作るために次のことに注意して
下さい。

一、葉に土をつけないように
土で汚れたトップを切込むと、
不良バクテリアの繁殖で腐敗をす
ることがあります。

二、サイロに水抜をつけよう。
トップは水分が多いので水が溜
ります。



公明な選挙で

まねくよい政治

佐呂間町選挙管理委員会
佐呂間町公明選挙推進委員会

明るくなつた佐呂間市街

街路灯防犯灯が完成

「町を明るくしよう」運動の一
環として、昨年から佐呂間商工会
が中心となり新設計画中であった

市街大通りの水銀街

路灯設置について

佐呂間自治会の暗い

所に防犯灯を設ける

計画と併せて、八月

下旬より工事をすす
めていたところ、

このほど工事が完成

し水銀街路灯三十一

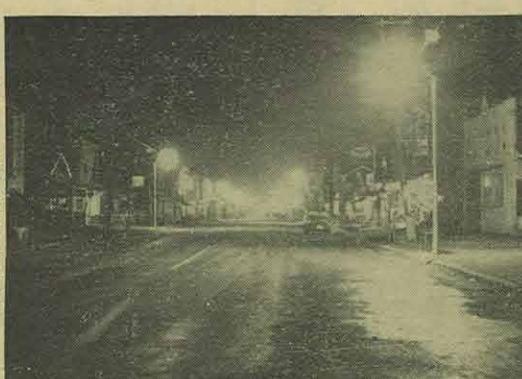
灯と防犯灯五十一灯

が九月二十日より一
斉にともされました

今まで十年前に、

湧網線全通、町制施

行を記念して設置さ
れた街灯も破損がは
なはだしく、暗闇が



(明るくなつた佐呂間市街)

非常に多かつた街の中も、見違え
る様に明るくなり町民からも大変
よろこんでいる。

食生活に欠かせないつけ物シ
ヌンともなれば、どこの家庭でも
長い冬に備えてつけ物をつくる姿
が見受けられるようになりますが
このつけ物も気をつけないとと思わ
ぬ事故を引き起こすことがあります。

つけ物によつて起つた事故には

農薬、細菌、有害色素などの添加
物による中毒や、赤痢などの伝染
病、回虫などの寄生虫によるもの
など、数多くあります。

このような事故を防ぐには、次
の点に注意することです。

一、原料野菜は新鮮なものを使ひ
中性洗剤でじゅうぶんに洗浄した
あと、塩素剤で消毒する。

二、容器具類は、洗淨したあと熱
湯か塩素剤で消毒する。

三、つけ込みのとき、手指をよく
洗う。

四、水は、水道水か飲用に適した
水を使用する。

五、副材料に使う人工甘味料、人
工着色料、防腐剤、硫酸銅、ミ
ヨウバン、香辛料などは、分量
をまちがわぬようにする。

六、つけ物の保存には、サルモネ
ラ中毒を防ぐため、ねずみや昆
虫に汚されないよう、ビニール
などでおおいをしておく。

七、鮮魚を合わせてつけ込む場合
とくに「いづし」などはボツリ
ヌス中毒を起こして命取りにな
ることがあるので鮮度の良い原
料を用いてじゅうぶんに水洗い
し、低温で保存するなど、とく
に注意する。

つけものに
ご用心